

2021(令和3)年度 第1回コンクリート常任委員会
議事録

日 時：2021年5月26日（水）14時00分～16時00分

場 所：WEB会議

出席者：下村委員長，山本幹事長

綾野，石田，岩城，岩波，内田，大内，鎌田，河合，岸，河野，古賀，小林，斎藤（豪），坂井，
佐藤，菅俣，玉井，津吉，鶴田，中村，永元，二羽，濱田，原田，平田，本間，松村，丸屋，
宮里，山路の各常任委員
大島，加藤，田所，細田，前田，牧の各常任委員兼幹事
武者，國枝の各オブザーバ，小川（事務局）

配布資料：

- 1-0 2021（令和3）年度 第1回コンクリート常任委員会 議事次第
- 1-1 コンクリート委員会 委員構成
- 1-2 2020（令和2）年度 第6回コンクリート常任委員会議事録
- 1-3 2021年度 コンクリート委員会・常任委員会 開催予定
- 1-4 示方書改訂小委員会 設計編部会 委員構成
- 1-5 示方書改訂小委員会 施工編部会 委員構成
- 1-6 示方書改訂小委員会 基本原則編部会 委員構成
- 1-7 102 規準関連小委員会 委員構成
- 1-8 207 国際関連小委員会 委員構成
- 1-9 232 コンクリート標準示方書英訳小委員会 委員構成
- 1-10 （重点研究課題）新しいアルカリ活性材料を用いた低炭素社会におけるインフラ構築に関する研究 委員構成
- 1-11 石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会 委員構成
- 1-12 （仮）繊維補強セメント系複合材料の利用拡大に関する研究小委員会 設置趣意書（案）
- 1-13 コンクリートのあと施工アンカー工法設計・施工指針（案）の審議
- 1-14 2020年度コンクリート委員会 一般会計決算
- 1-15 362 コンクリート中への水分浸透評価とその活用に関する研究小委員会 委員構成
- 1-16 363 プレストレストコンクリート黎明期に建設された茂喜登牛水路橋の解体調査研究小委員会 委員構成
- 1-17 本部主催行事開催報告
- 1-18 ウェブセミナー Frontiers of Concrete Technology
- 1-19 2020年度 調査研究委員会の活動度評価の結果および2021年度調査研究費予算配分について

議 事：

1. 委員長挨拶

下村委員長より，新年度新体制の第1回委員会にあたり，コンクリート委員会の歴史，役割について説明がなされ，今年度も宜しくお願いします，との挨拶がなされた．また，町田名誉教授のご逝去に際し，哀悼の意を表するとの発言があった．

2. 委員および幹事の紹介【資料1-1】

出席委員および幹事の自己紹介を行った．二羽委員の所属を高速道路総合技術研究所に修正することとなった．

3. 2020年度第6回コンクリート常任委員会議事録の紹介【資料1-2】

山本幹事長より、2020年度第6回コンクリート常任委員議事録は既にメールで確認済みのため、要点のみ紹介があった。

4. 2021年度コンクリート常任委員会開催日程【資料1-3】

山本幹事長より、常任委員会の開催日程の紹介があった。

5. その他

なし。

審議事項：

1. 第1種・第2種委員会の委員構成

(1) 示方書改訂小委員会 設計編【資料1-4】

下村委員長より、示方書改訂小委員会設計編部会の4名のオブザーバの追加（金澤オブザーバ：北海学園大学，醍醐オブザーバ：東日本旅客鉄道，竹田オブザーバ：オリエンタル白石，山田オブザーバ：日本大学）について説明があり，承認された。また，高橋良輔委員の所属を北海学園大学に修正することとなった。

(2) 示方書改訂小委員会 施工編【資料1-5】

下村委員長より，示方書改訂小委員会施工編部会の委員2名の変更（谷村委員：太平洋セメントから河野委員：太平洋セメントに変更，二井谷委員：オリエンタル白石から中村委員：オリエンタル白石に変更）について説明があり，承認された。

(3) 示方書改訂小委員会 基本原則編【資料1-6】

下村委員長より，示方書改訂小委員会基本原則編部会の委員2名の変更（古市副主査：鹿島建設から西武ポリマに所属が変更，二井谷委員：オリエンタル白石から中村委員：オリエンタル白石に変更）および委員4名の追加（加藤委員：東京理科大学，木野委員：東日本旅客鉄道，細田委員：横浜国立大学，牧委員：埼玉大学）について説明があり，承認された。

(4) 規準関連小委員会【資料1-7】

下村委員長より，規準関連小委員会の委員1名の追加（鎌田委員：大阪大学）について説明があり，承認された。

(5) 国際関連小委員会【資料1-8】

下村委員長より，国際関連小委員会の委員2名の変更（濱田委員長：九州大学から大島委員長：ナカノフドー建設に変更，大内担当幹事：高知工科大学が退任）および委員1名の追加（小池委員：鹿児島大学）について説明があり，承認された。

(6) コンクリート標準示方書英訳小委員会【資料1-9】

下村委員長より，コンクリート標準示方書英訳小委員会の委員構成について説明があり，承認された。主な意見は次の通り。

・（濱田）基本原則編は2012年版を英訳するのか？基本原則編は大きく改訂する可能性があるので改訂版を英訳するのがよいのではないかと？

→（下村）すべての編は現行版を英訳する。ただし，現在の状況と大きく異なる部分の訳出には配慮する。量が多いので，部分訳，抄訳とする部分もある。改訂版が出る前に英訳版を出す予定である。

(7) (重点研究課題) 新しいアルカリ活性材料を用いた低炭素社会におけるインフラ構築に関する研究
【資料 1-10】

下村委員長より、新しいアルカリ活性材料を用いた低炭素社会におけるインフラ構築に関する研究の委員構成について説明があり、2 種委員会として活動することが承認された。また、畑中委員の所属を岐阜市立女子大学に修正することとなった。

(8) 石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会【資料 1-11】

下村委員長より、石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工研究小委員会の委員 2 名の変更（松浦委員：広野 IGCC パワー合同会社から東京電力ホールディングスに所属が変更、大内担当幹事：高知工科大学から田所担当幹事：鉄道総合技術研究所に変更）について説明があり、承認された。

2. 第 2 種委員会の設置【資料 1-12】

下村委員長より、第 2 種委員会（仮）繊維補強セメント系複合材料の利用拡大に関する研究小委員会の設置についての発議があり、委託側武者幹事から説明がなされ、設置が承認された。委員構成については内田委員長以下で検討し、次回の委員会で提案することとなった。主な意見は次の通り。

- ・(細田) 繊維補強複合材のすべてを含まずに範囲を限定するのか？
→ (武者) 強度、じん性で範囲を限定する。
- ・(永元) UFC は含まないのか？引張硬化、軟化も扱うのか？
→ (武者) UFC は含まない。引張硬化、軟化を評価するのは難しいが考え方は示す。
- ・(本間) 実績拡大のための指針か？使用する際に具体的な構造物がイメージできるようにしてほしい。
→ (武者) 公表されていない技術も含めて幅広く使えるようにする。床版等、用途は具体的に示す。

3. 指針案の審議【資料 1-13】

コンクリートのあと施工アンカー工法設計・施工指針の改訂について、中村委員長より説明がなされ、6/16 までに意見照会を国枝幹事長まで提出することとなった。主な意見は次の通り。

- ・(下村) タイトルが旧版と同じであるが変えないのか？
→ (中村) 維持管理も入れるかどうか再検討する。
- ・(玉井) 継手指針改訂時に“性能”という用語は構造物に対してのみ適用するとした。アンカーについては“性能”でよいのか？
→ (中村) 継手指針も参考にした。構造物を見ながらアンカー部も見るということで“性能”とした。
- ・(玉井) 鉄筋をアンカーで定着して部材を継ぎ足す方法は適用範囲に含んでいるのか？
→ (中村) 含んでいる。照査は示方書設計編に準拠することとしている。アンカーの使用を制限するものではない。
- ・(古賀) 説明に使用した資料を提供してもらえないか？
→ (山本) 指針案の意見照会用のフォルダに保存する。

4. その他

なし。

報告事項：

1. 2020年度コンクリート委員会決算報告【資料1-14】

山本幹事長より、2020 年度の決算報告がなされた。支出実績はコロナの影響でほとんど無いとのことであった。2021 年度予算については次回委員会で提示することとなった。

2. 第3種委員会の委員構成

(1) 362コンクリート中への水分浸透評価とその活用に関する研究小委員会【資料1-15】

山本幹事長より、362委員会の委員構成について委員2名の変更（山口委員：鹿児島大学の退任，審良委員：鹿児島大学の追加）の説明がなされた。

(2) 363 プレストレストコンクリート黎明期に建設された^{もきとうし}茂喜登牛水路橋の解体調査研究小委員会 【資料 1-16】

山本幹事長より、363委員会の委員構成について委員1名の追加（近藤委員：東京地下鉄の追加）の説明がなされた。

3. 報告会，講習会の開催報告

山本幹事長より、以下の講習会の開催報告がなされた。

(1) プレキャストコンクリートを用いた構造物の構造計画・設計・製造・施工・維持管理指針（案）講習会【資料 1-17】

開催日：2021年3月18日（木），開催方法：オンライン（Vimeo ライブ配信），参加者数：249名

(2) 石炭灰混合材料を地盤・土構造に利用するための技術指針（案）講習会【資料 1-17】

開催日：2021年4月7日（水），開催方法：オンライン（Vimeo ライブ配信）・会場参加，
参加者数：63名

(3) ウェブセミナー Frontiers of Concrete Technology【資料 1-18】

開催日（第1回）：2021年4月16日（金），開催方法：オンライン（Zoom ウェブセミナー，YouTube 同時配信）・会場参加，参加者数：263名
第2回は2021年8月3日（or4日）に開催予定

4. その他

(1) 2020年度 調査研究委員会の活動度評価の結果および2021年度調査研究費予算配分【資料1-19】

山本幹事長より、2020年度の委員会活動度評価がAランクであり、2021年度予算配分額も前年度並みであることが報告された。

(2) 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会（360委員会）の活動期間変更

山本幹事長より、高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会（360委員会）の活動期間の延長について、幹事会に申請がなされ、幹事会として承認したことが報告された。

(3) 土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会（361委員会）の活動期間変更

山本幹事長より、土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会（361委員会）の活動期間の延長について、幹事会に申請がなされ、幹事会として承認したことが報告された。

(4) JCI 年次大会の事前申込み

小林委員より、JCI 年次大会の事前申込み（6/10 締切）の期限が迫っていることについて、注意喚起が

あった。

次回開催：

2021年7月6日（火）14:00～ web 会議（議題は幹事宛てに6月25日（金）までに）

以上

【記録：前田 敏也】